

# 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年2月1日

経理責任者  
独立行政法人地域医療機能推進機構  
総務部長 木村 晴行

## 1. 競争に付する事項

- (1) 件名及び数量 独立行政法人地域医療機能推進機構が保有する財産に係る火災保険契約
- (2) 仕様等 入札説明書及び調達仕様書による。
- (3) 履行期間 令和6年4月1日午後4時から令和9年4月1日午後4時まで（3年間）
- (4) 履行場所 独立行政法人地域医療機能推進機構の指定する場所
- (5) 入札方法 一般競争入札
  - ① 第一交渉権者の決定にあたっては、入札書に記載された金額をもって評価するので、入札者は、仕様書及び契約書案に定めるところにより、調達件名にかかる直接経費の他、機材、資材、機械器具、運搬費等、業務委託に要する一切の諸経費を含め、契約金額を見積もるものとする。
  - ② 入札者が提出する入札書は、調達件名にかかる保険料及び保険加入にかかる一切の費用を含めた令和6年4月1日午後4時から令和9年4月1日午後4時までの保険料を入札金額として記載すること。

## 2. 競争に参加する者の必要資格に関する事項

- (1) 独立行政法人地域医療機能推進機構契約事務取扱細則（以下「契約事務細則」という。）第4条第4項の規定に基づき経理責任者が定める資格を有するものであること。
- (2) 契約事務細則第5条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、成年被後見人、被保佐人又は被補助者であっても、契約締結のために必要な同意を得ているものは、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

### 【参考】契約事務細則抜粋

第5条 経理責任者は、特別な理由がある場合を除き、次の各号のいずれかに該当する者を一般競争に参加させることができない。

- 一 契約を締結する能力を有しない者
- 二 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 三 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

- (3) 契約事務細則第6条の規定に該当しない者であること。

【参考】契約事務細則抜粋

第6条 経理責任者は、次の各号のいずれかに該当すると認められる者をその事実があった後一定期間一般競争に参加させないことができる。これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても、同様とする。

- 一 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
- 二 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正な利益を得るための連合をした者
- 三 交渉権者が契約を結ぶこと又は契約者が履行することを妨げた者
- 四 監督又は検査の実施に当たり職員及び経理責任者が委託した者の職務の執行を妨げた者
- 五 正当な理由なく契約を履行しなかった者
- 六 契約により、契約の後に代価の額を確定する場合において、当該代価の請求を故意に虚偽の事実に基づき過大な額で行った者
- 七 前各号のいずれかに該当する事実があった後2年を経過しない者を契約の履行に当たり、代理人、支配人その他の使用人として使用した者
- 八 前各号に類する行為を行なった者

2 経理責任者は、前項の規定に該当する者を入札代理人として使用する者を一般競争に参加させないことができる。

3 第1項の期間その他必要な事項は、別に定める。

(4) 独立行政法人地域医療機能推進機構反社会的勢力への対応に関する規程第2条の各号に該当しない者であること。

(5) 次の要件をすべて満たしている者であること。

- ① 令和5年度以降、厚生労働省競争参加資格(全省庁統一資格)において、「役務の提供等」で「A」等級に格付けされ、全国8ブロックにおいて競争参加資格を有する者であること。
- ② 入札説明書の交付を受けた者であること。
- ③ 入札説明書において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約できる者であること。
- ④ 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てをしていない者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てをしていない者。(会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てをした者については、手続開始の決定後、全国8ブロックにおいて一般競争参加資格の再認定を受け、「A」等級に属していること。)
- ⑤ 不正及び不誠実な行為がないこと。
- ⑥ 競争参加資格確認申請書及び競争参加資格確認資料の提出期限の日から開札の時までの期間に独立行政法人地域医療機能推進機構の理事長又は経理責任者から独立行政法人地域医療機能推進機構契約指名停止等措置要領(以下「指名停止要領」という。)に基づく指名停止を受けていないこと。
- ⑦ 指名停止要領に基づく指名停止の期間中の有資格者が契約等の全部若しくは一部を下

請し、もしくは受託し、又は当該契約の履行を保証させようとする者ではないこと。

⑧ 指名停止要領に基づく指名停止の期間中の有資格業者から、本契約に関する役務の提供に係る代理権を付与された者ではないこと。

⑨ 保険業法（平成7年法律105号）または農業協同組合法（昭和22年法律第132号）、その他の法律に基づき、損害保険業の免許又は火災共済事業の承認、許可等を受けている者であること。

⑩ 地域医療機能推進機構の施設が所在する都道府県すべてに事故受付センターを保有し、事故発生時に迅速な対応がとれること。

(6) 次の事項に該当する者は、競争に参加させないことがある。

- ① 入札前提出書類等に虚偽の事実を記載した者
- ② 経営の状況又は信用度が極度に悪化している者

### 3. 入札書の提出場所及び手続き等

(1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び問合せ先

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12

独立行政法人地域医療機能推進機構本部 総務部総務課会計係（菊地）

電話：03-5791-8255（会計係直通）

(2) 入札説明書等の交付方法

本公告日から令和6年2月15日（木）までに「機密保持に関する誓約書」（本公告に添付）と引き換えに上記3.（1）の交付場所にて交付する。（土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く9時30分から17時00分まで）

なお、やむを得ず来所が困難な者については、郵送（郵送費用は請求者負担とし、返信用封筒（レターパック等）を必ず同封すること）にて交付を行うので、上記3（1）まで期日に余裕を持って早めに連絡すること。

(3) 入札書の提出期限

令和6年2月29日（木）17時00分まで

(4) 入札日時

令和6年3月1日（金）10時00分より

独立行政法人地域医療機能推進機構本部 研修棟4階会議室

(5) その他

提出された入札参加申込書類等は原則返却しない。

### 4. その他必要な事項

(1) 入札保証金及び契約保証金 「免除」

(2) 入札及び契約手続に使用する言語及び通貨 「日本語及び日本国通貨」

(3) 入札者に要求される事項

この一般競争に参加を希望する者は、上記3（2）により交付される入札説明書（入札関係書類）に基づき、入札前提出書類を令和6年2月16日（金）17時00分（入札参加申込書

等の提出期限)までに提出しなければならない。競争参加者は入札日の前日までの間において、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

入札者の競争参加資格に関する証明書等は当機構において審査するものとし、参加資格を有すると認められた者には競争参加資格確認通知書を送付する。

(4) 入札の無効

本公告及び入札説明書に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、本公告及び入札説明書に示した入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書は無効とする。

(5) 契約書作成の要否 「要」

(6) 第一交渉権者及び契約価格の決定方法

本公告及び入札説明書に示した物品の納入、特定役務又は工事等を履行できると経理責任者が判断した資料を添付して入札書を提出した入札者であって、契約事務細則第34条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を第一交渉権者とする。

第一交渉権者となるべき者が2者以上あるときは、当該者によるくじ引きにより第一交渉権者を決定する。

第一交渉権者が決定した時は直ちにその者と交渉し、契約価格が決定した場合は、その者を契約の相手方とする。

(7) 応募に関する留意事項

① 資料の取り扱い

当機構が提示する資料及び回答書は、入札参加申請に係る検討資料とし、それ以外の目的で使用することを禁止する。また、この検討の範囲内であっても、当機構の承諾を得ることなく第三者にこれを使用させ、又は、内容を提示することを禁止する。

② その他

当機構が提示する資料及び回答書は、本公告及び入札説明書等と一体のものとし、同等の効力を有するものとする。なお、応募に当たって必要な事項が生じた場合には、応募事業者に通知を行う。

以 上

# 機密保持に関する誓約書

令和 年 月 日

独立行政法人地域医療機能推進機構

総務部長 木村 晴行 殿

住 所（所在地）

氏 名（法人名）

印

（代表者名）

電話番号：（ ） —

E-mail： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_（以下「当社」という。）は、独立行政法人地域医療機能推進機構が保有する財産に係る火災保険契約の検討（以下「本件目的」という。）を行なうにあたり、貴機構から当社に対して開示される機密情報（以下「機密情報」という。）の取扱いに関し、以下各条のとおり誓約します。

## （機密情報の定義）

第1条 本件機密情報とは、本件目的の実施にあたって書面・口頭その他開示の方法を問わず開示される一切の情報をいいます。ただし、以下のいずれかに該当する情報については、この限りではありません。

- （1）開示を受ける以前より、自ら保持し、又は第三者から入手していた情報。
- （2）開示を受ける時点で既に公知であった情報、又はその後公知となった情報。
- （3）守秘義務を負わない第三者から正当に入手した情報。
- （4）当社が機密情報を利用せずに独自に開発した情報。
- （5）貴機構から書面により開示の承認を得た情報。

## （機密情報の取扱期間）

第2条 本誓約書の有効期間は、貴機構が存続する期間継続するものとします。

## （表明及び保証）

第3条 貴機構が機密情報の内容の正確性、完全性及び最新性につき何らの表明及び保証（明示か黙示を問わない。）を行なわないことを当社は了承します。

- 2 当社は、機密情報が不正確であった場合等においても、これについて貴機構に対し損害賠償の請求その他一切の異議を申し立てないものとします。

## （機密情報の取扱い）

第4条 当社は、機密情報について厳に機密を保持し、本件目的のみのために使用するものとし、本誓約書において認められた場合を除き、第三者にこれを開示し、漏洩し、公表しません。

- 2 当社は、当社及びその関連会社の社内においても、本件目的達成のために関係する、必要最小限の役員及び一部特定の従業員以外の役員及び一般従業員に対しては、一切情報を開示せず、また情報の開示を受ける一部特定の従業員に対しても、在職中及び退職後においても機密を完全に

厳守せしめ、かつ本件目的以外に使用させないよう万全の措置を講じます。

(機密情報取扱いの例外)

第5条 当社は、機密情報の開示の相手方として事前に貴機構の書面による同意を得た者及び次に掲げる者に対して、合理的に必要とされる範囲の情報を開示することができるものとします。

- (1) 顧問弁護士、会計監査人
- (2) 機密の厳守及び本件目的以外の利用禁止を条件として、本件目的の実施に関し助言を求め  
る会計士、その他外部の専門家
- (3) 裁判所又は行政庁から法令に基づき機密情報の開示にかかる命令を受けた場合における当  
該官公署
- (4) 法令に基づき当社を監督する官公署又は団体からその監督の目的のために機密情報の開示  
にかかる要請を受けた場合における当該官公署又は団体

(善管注意義務)

第6条 当社は、善良なる管理者の注意をもって、貴機構又は貴機構の指定する者より交付を受けた  
機密情報に関する調査報告書、書類、図面、見本その他一切の資料を保管使用します。

(機密情報の返還)

第7条 当社は、本件目的の実施が終了したとき又は貴機構より請求を受けたときには、直ちに開示  
された本件目的に関する一切の機密情報を、貴機構の指示に従い貴機構に返還又は当社の責任に  
おいて破棄します。

(損害賠償)

第8条 貴機構は、当社が本誓約書に違反したことにより貴機構が損害を受けた場合は、当社に損害  
賠償を請求できるものとします。

(準拠法及び管轄裁判所)

第9条 本契約は日本法を準拠法とし、本契約に係る問題は日本法に従って取扱うものとします。

- 2 当社は本誓約書に関し、争いが生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とす  
ることに同意します。

以 上